

2年生 美術科の学習内容

1 美術科の学習のねらい

- ・授業を通して、進んで美術を愛好する気持ちを培い、心豊かな生活を創る気持ちを養う。
- ・感じたことや考えたことをもとに、表現する技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を伸ばす。
- ・美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを味わう能力を高める。

2 評価の方法

- (1) 美術への関心・意欲・態度
授業の準備・かたづけ 学習に対する態度・集中力
忘れ物・提出物の状況など
- (2) 発想・構想の能力
アイデアスケッチ、下絵など独自に工夫したこと
- (3) 創造的な技能
材料・用具の扱い方 技法を生かした表現方法など
- (4) 鑑賞の能力
ワークシート・自己評価表の記入内容 発表内容など

3 学習内容

	領域	題材名	題材のねらいと学習の内容 【共通事項】との関連	評価の観点（規準）
1 学期 11 時間	鑑賞	「美術を通して学ぶ大切なこと」	・作品を鑑賞し、自分なりの意味や価値を作り出すことに興味をもち、今後の美術の授業に対する意欲をもつ。	○自分の考えを作品として表現することの意義をつかむ。
		「人の形に込めたもの」	・ロダン、ジャコメッティ、シーガルの作品に触れ作品に込められた思いを感じ取る。	○彫刻や立体作品が作り出す空間に着目し鑑賞する。
	彫刻	「空間を感じて」	彫刻が作り出す空間に関心をもち、針金材料を生かした立体を制作する。 人の動作を意識して、人の形の美しさ、動きを表す。	○彫刻が作り出す空間に関心をもつてスケッチができ心材が作成でき、対象の構造をもとに美しい空間を発想しポーズを構想できる。
	鑑賞	「ゴッホと日本」 美術作品を鑑賞しよう	・作品を比較鑑賞し、それぞれの表現方法の特徴や違い、作者の意図などを考えながら、鑑賞の楽しさを味わい 日本と西洋の美術のよさやし方の違いについて興味・関心をもつ。	○構想に沿ってデッサンし、動きのある彫刻を作成する。 ○友達の作品のよさについて鑑賞する。作者が作品に込めた思いや表現の工夫を鑑賞する。 ○日本と西洋の美術のよさや表し方の違いについて興味・関心をもつ。

2 学 期 15 時 間	鑑賞	「空想からの表現」	マグリッド作品を鑑賞 作者の思いを感じ取る。	○マグリッドの特徴を理解し、そのよさについて鑑賞し、作者の思いや表現の工夫を感じ取る。
	絵画	「心の世界を描こう」	空想の世界に興味をもち、構成を工夫して、表したい世界に合った点描表現をする	○自分の思い描いたイメージを構成を工夫して絵として表現できる。 ○点描画の表現意図に合うように、遠近法、光の方向や陰影、用具の活用などを工夫して表現する。
	鑑賞	「ゲルニカ」の鑑賞	暴力への怒り、命の尊さを感じ取り、気持ちを友たちと共有する。	○鑑賞して感じ取ったことを友達と共有する。
	デザイン	「形や色からのメッセージ」	形や色彩で自分の思いを表現する。	○作品の意図を感じ取り、形や色彩で自分の思いを表現する。
3 学 期 9 時 間	鑑賞	「人がつくる、技を極める」	我が国の伝統工芸品のよさや美しさに関心をもち、用の美について学習する。	○伝統工芸品のよさや美しさに関心をもち、工芸品のもつ素材を生かした美しさやよさを味わう。
	工芸	【明かりをつくらう】	使用する目的を考えて素材のよさを生かした作品を制作する。	○使用するという目的を理解し漆塗りの効果を生かすデザインを構想する。 ○木材の性質について理解し、使い方を考えて工具を安全に効果的に使用し粘り強く製作に取り組む。 ○友達の作品のよさについて鑑賞する。作者が作品に込めた思いや表現の工夫を鑑賞する。
	鑑賞	「ルネサンスの美術」	芸術家たちが古代ギリシャ・ローマの芸術を理想として、ありのままの人間を表現しようとしたことをつかみ、作品の美しさを味わう。	○作家の作品を制作する意図を感じ取り、作品の力強さや美しさを味わう。